

# はくぶつかんネット 第51号 2014 10月～1月号



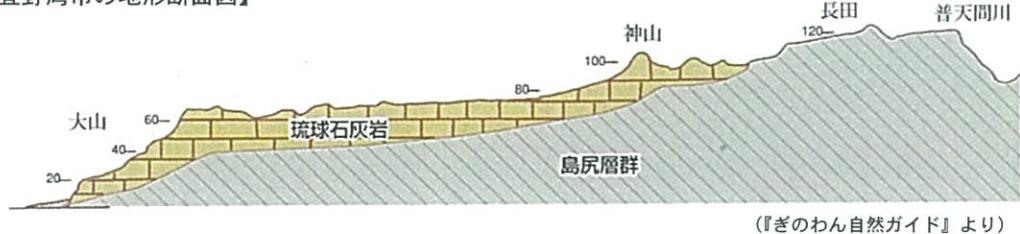
だんだんと涼しくなり秋めいてきましたが、皆様いかがお過ごででしょうか。

当博物館では9月14日まで、夏の企画展「宜野湾の台地」を開催しておりました。おかげさまで1,000名を超える多くの皆様にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。宜野湾市で見られる生き物たちのはく製や標本、湧き水実験コーナー、人びとのくらしにまつわる道具の展示などは特に人気があったようで、団体のお客様がいらっしゃると、コーナー前によく人だかりができていました。この企画展を機に、私たちが住んでいる宜野湾市の台地に改めて興味を持っていただけたら嬉しいです。

## ■ 宜野湾の台地について学んでみよう！

企画展は、宜野湾市の生い立ちから地形や地質、宜野湾市で見られる生き物たち、そしてそこに暮らす人びとの生活まで、幅広く展示を行いました。このページでは、その中でも宜野湾市の地形と地質を学ぶまでのキーワードを取り上げ、紹介していきます。

【宜野湾市の地形断面図】



サンゴが固まってできた  
琉球石灰岩。  
ルーペで見てみると…?

### 琉球石灰岩とは？

**💡 南西諸島に分布する石灰岩の地層で、炭酸ガスを含む水に溶けやすく、水を通しやすい性質があります。沖縄では、昔から石積みや墓などの材料として利用されています。**



### 島尻層群とは？

**💡 古代に堆積した粘土や砂の地層で、茶色の砂質の層であるニービ（砂岩）、灰色の粘土質の層であるクチャ（泥岩）、クチャが風化されてできた灰色の土・ジャーガルがその種類として挙げられます。粘土質のクチャ層は、水を通しにくい性質があります。**

湧き水は、昔からずっと人びとの生活に役立っているんだね！

### カルスト地形とは？

**💡 石灰岩でできた地域が雨水や地下水などによって溶食されてできた地形のことです。サンゴ礁に起源をもつ宜野湾市の台地では、普天満宮洞穴をはじめとする鍾乳洞や、石灰岩台地の地表面にできるくぼ地が多く見られます。くぼ地のうち、比較的小さなものをドリーネと呼び、ドリーネが2つ以上くっついて大きくなったものをウバーレと呼びます。**



## 湧き水のヒミツ！

湧き水とは、地下水が自然の状態で湧き出している場所、または湧き出している水のことを指します。現在のように水道がない時代では、人びとは飲み水や生活用水として湧き水を利用していたので、湧き水の周辺には昔から多くの集落が形成されてきました。

宜野湾市には既になくなったものを合わせると、100以上もの湧き水が確認されています。しかし、湧き水の分布をみてみると、中央部にはほとんどなく、北西に向かって緩やかに傾斜した市の地形からか、西部に比べると東部も、やや少ないことが分かります。水を通しやすい琉球石灰岩の分布する地域は、水は地下水となって西側へ流れていくのです。そのため、西海岸沿いの地域、特に大山には多くの湧き水があり、家庭の生活用水として利用することがほとんどなくなった今でも、田イモ畑をうるおすために欠かせないものとなっています。

大山の湧き水には、コンジンテナガエビやオオウナギなどの生き物が生息しているよ！



↑企画展では、琉球石灰岩やニービ、クチャの層を敷き、ペットボトルとストローを利用して装置で、湧き水の仕組みを実際に再現しながら学べました♪

## 秋の企画展

開催中

## 宜野湾のムラアシビ

## ■「ムラアシビ」とは?



村芝居・八月踊りなどともいわれ、豊年祭で行われる舞踊や狂言です。ムラの御嶽（ウタキ）などの神々に豊年を感謝・祈願するもので、沖縄本島各地では、稻の収穫が終わる時期である旧暦8月10日前後の豊年祭で行うことが多いようです。

豊年祭は大きく三つの段階に分かれ、初めに、御嶽でこれから祭りを始める報告を神をお迎えします。次に、神をもてなすための芸能、ムラアシビが行われます。そして、喜んでいただいた神をお送りして祭りが終わります。

ムラアシビを毎年行っている地域もありますが、多くは7年マール（廻る）、5年マールなど、数年おきに開催しています。宜野湾市では、毎年行うムラアシビはありませんが、数年おきに行うマールのムラアシビが普天間、新城、野嵩にあります。戦前までは伊佐と大山にもあったようです。また神山、宜野湾などでは、戦前まで定期的に行われる小規模なアシビがありました。

## ■展示会について



宜野湾市内で行われているムラアシビ行事について、戦前と現在に分けて紹介しています。

ムラアシビ上演に至るまでの経緯や、変わりゆく社会に翻弄された様子、そして現在のムラアシビの様子を、写真や文献資料などを用いて紹介しています。また、野嵩一区自治会や新城区自治会、普天満宮などからお借りした衣装や小道具、獅子舞なども展示しています。

他にも、ムラアシビについてまとめた映像も上映していますので、子どもから大人まで、多くの方に楽しんでもらえる展示となっています。

# 期間 10月29日(水)～11月30日(日)

■時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■会場：宜野湾市立博物館

■入場料：無料

■休館日：毎週火曜日・11月23日（勤労感謝の日）※11月24日は開館します

入場無料♪





## 第23回

## ぎのわんの文化財図画作品展



## 教育長賞

普天間第二小学校  
「森の川」知念 拓人普天間小学校  
「普天満宮」仲地 瑞南普天間中学校  
「喜友名泉」成海 綾香

10月1日(水)～10月19日(日)まで、「ぎのわんの文化財図画作品展」を開催いたしました。今年度は182点の応募があり、多くの子どもたちが宜野湾市内の文化財や風景を描いてくれました。

市内の様々な湧き水を題材にした作品が多く、改めて水が豊富な宜野湾なのだと実感させられました。また、切り絵を使った表現や、さまざまな文化財を組み合わせて描いた作品など、アイデアいっぱいの作品がみられました。

また来年、素晴らしい作品に出会えることを、審査員の先生方も博物館の職員も楽しみにしています。



教育長賞・金賞・銀賞・銅賞を受賞されたみなさん。



## 図画作品移動展を開催しました

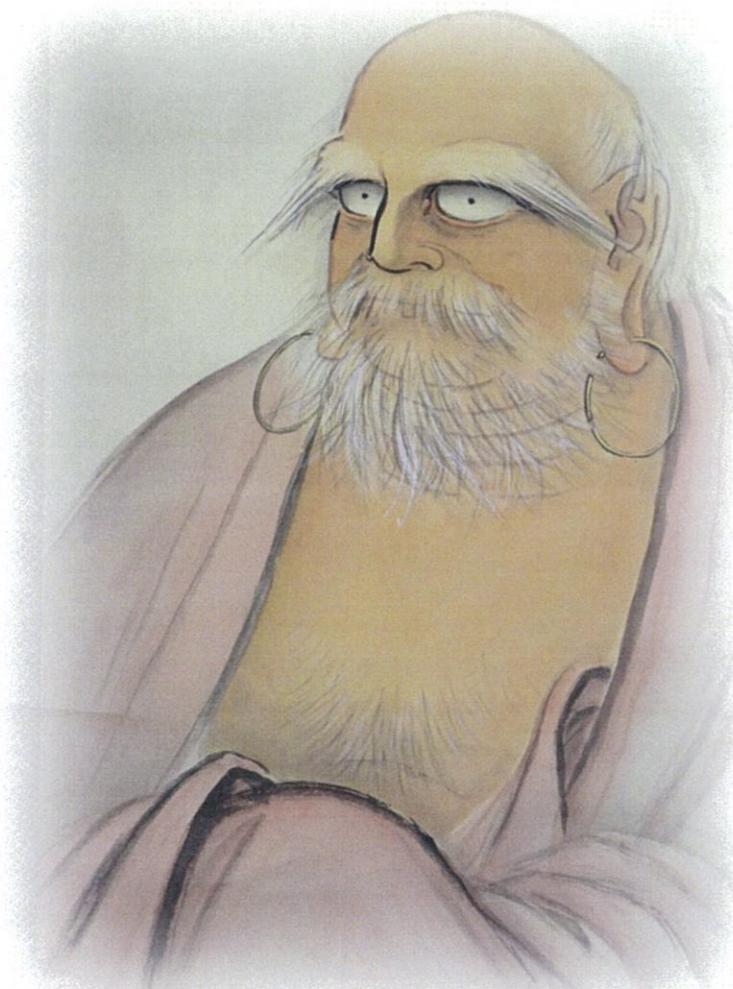


10月27日(月)～11月7日(金)の期間、宜野湾市役所1階の市民ギャラリーで、教育長賞・金賞の作品9点を展示しました。

みんな上手だなあ～!!



# 宜野湾市立博物館開館15周年記念企画展 山田真山 —描いた世界・育まれた環境—



1885(明治18)年に那覇市壺屋に生まれ、明治～昭和期に活躍した芸術家・山田真山(1885～1977)。

沖縄県民にとって、糸満市の平和祈念公園内、平和祈念堂にある『平和祈念像』で有名ですが、沖縄戦を経験したのち宜野湾市普天間にアトリエを構えたため、宜野湾市における郷土の偉人の一人としても知られています。

彫刻家であり、また日本画家でもある真山は、多くの作品を残しました。今回の企画展では、宜野湾市立博物館開館15周年を記念して、より多くの方に地域の誇れる人物として山田真山について知っていただけるよう、作品とその人物像について紹介します。

開催期間：平成26年12月10日(水)～12月21日(日)

入場料：無料

## ■関連市民講座「山田真山について—その人物と作品—」

- 講 師：小林純子(沖縄県立芸術大学教授)  
日 時：平成26年12月14日(日) 14:00～16:00  
場 所：普天間小学校 図書室  
定 員：50名  
受講料：無料

より深く山田真山について学ぼう！

※1時間ほどの講演後、山田真山のアトリエ見学を行います。

※お申込みは、博物館の窓口へ直接・またはお電話(098-870-9317)にて。





## 教職10年経験者研修・学芸員実習



今年も、多くの実習生の皆さんが博物館を訪れました！

教職10年目研修では北中城高校の仲座好志先生を、学芸員実習では琉球大学と沖縄国際大学の学生さん4人を受け入れました。博物館での研修や実習を通して得た経験を、ぜひ今後に生かしていただけたらいいな、と思います。それでは、皆さんの感想を紹介していきます！



### ・仲座 好志教諭（北中城高校）

比嘉館長、平敷係長をはじめ、宜野湾市立博物館の皆様、3日間という短い間でしたが、大変お世話になりました。「学校現場と地域団体との文化活動の拠点」となる市民参加型の博物館を目指した活動を行っている皆様にとって、貴館とはもの凄く愛着とまた誇りを持って仕事に携われる場所であるということが言葉の片鱗からうかがうことができ、とても充実した3日間を過ごすことができました。

私に対しても学校との連携や活動について意見を聞いていただき、若輩ながら、何かしら気づいた点を今後の参考にしていただければと感じております。

また、娘と一緒に遊びに来たいと思います。いつまでも地域に愛され続ける博物館であることを心より願っております。本当にありがとうございました。

教職10年  
経験者  
研修



学芸員  
実習

### ・我如古 香さん（琉球大学）

実習期間中はやることが多くて大変だ～と思っていましたが、その分、博物館の業務に関することや人とのコミュニケーションなどたくさん学ぶことができました。机で勉強しているだけではできない経験ばかりで、とても楽しかったです。職員の皆様、12日間ありがとうございました。



### ・来間 千明さん（琉球大学）

博物館の目には見えない苦労を肌で感じることができて、とても貴重な体験ができました！色々な人とも触れ合うことができ、視野が広がった気がします。

博物館がこんなに身近に感じたのは初めてです。ありがとうございました！



### ・大城 大輔さん（沖縄国際大学）

今回、行わせてもらった実習では、わらば一体験じゅくなどに参加して行う野外での実習や、館内での展示物の説明や、自分達で調べて発表をするなど色々な体験をさせてもらいました。今回の実習を今後のことにつなげたいと思います。



### ・川満 昇平さん（沖縄国際大学）

わらば一体験じゅくでの田イモ植えや、市民講座など、たくさんの人と出会い、博物館ならではの体験ができて楽しかったです。



皆さん、一生懸命真面目に取り組んでいました。  
学芸員実習の期間が夏休み中ということもあり、大学生のお兄さんやお姉さんは小学生の子ども達にも大人気でした♪

**NEWS!!**

## 『青い海』贈呈式



前宜野湾市議会議長の呉屋勉さんより、『青い海』1971(昭和46)年の創刊号から1985(昭和60)年の145号(最終号)までの145冊を寄贈していただきました。呉屋さんは、1977(昭和52)年から1983(昭和58)年までの約7年間『青い海』の出版業務に携わってきました。

本書は、復帰を前にした沖縄に生きる若い世代に対し、復帰という激動の時代をどうとらえ、将来に向けて何を求めるかを考えよう呼びかけることを目的に出版されました。内容も時事問題から民俗、芸能、観光、児童文学など多岐にわたり、幅広い読者を獲得しました。

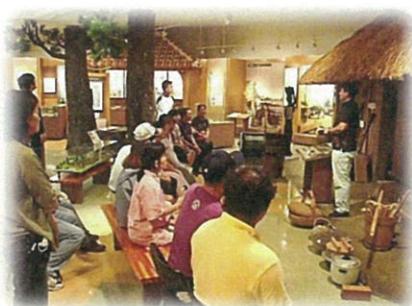
呉屋さんから寄贈頂きました、この『青い海』を、これからの方たちにも読んでもらえるよう市立博物館で活用を図りたいと思います。呉屋さん、誠にありがとうございました。

## 団体見学のご案内

宜野湾市立博物館では、昔の道具に実際にふれながら体験できる「昔の道具体験」や、見学者の要望に合わせた「展示の解説」を行っています。見学の際、子どもたちの「これってなあに?」「はじめて見た!」という声や、ディサービスの方々の「懐かしいさ~」「こんな風に使ったよ」という声が多く聞こえてきます。

電気や水道、ガスがない時代、宜野湾の人たちはどんな生活をしていたのでしょうか?実際に使われていた昔の道具を見て、ふれて、話を聞いて、五感をフル活用して楽しみながら学べる内容になっています。

- ★「展示解説」は予約が必要となります。解説を希望するみなさんは、見学希望日の2週間前までに博物館へご連絡ください。
- ★学校の社会科見学の場合は事前の打ち合わせが必要となりますので、1ヶ月前までにご連絡ください。



## 博物館友の会

「宜野湾市立博物館友の会」では、博物館が行う支援を通して、宜野湾市の歴史や文化を学びながら、会員相互の親睦を深めることを目的とした会です。また、会員向けの企画展の展示解説会やサークル活動も行っています。歴史や文化、自然などに興味のある方、市内市外、年齢、性別問いませんので、多くの方のご入会をお待ちしています。



### ■6月28日(土)

- ・「イクサユーヌじのーん(戦世の宜野湾)」展示解説会
- ・サークル活動①「宜野湾の外人住宅～過去・現在・未来について学ぶ～」

慰霊の日企画展「イクサユーヌじのーん」の展示解説のあと、元宜野湾市長の比嘉盛光さんと元宜野湾市職員の仲松弥孝さん(友の会会員)をお招きして、外人住宅建設ラッシュの頃のお話を伺いました。



### ■8月2日(土)

- ・「宜野湾の台地～世界岩台地でくらす人びと～」展示解説会

夏の企画展「宜野湾の台地～石灰岩台地でくらす人びと～」の展示解説では、宜野湾市の地形の特徴や湧き水のしくみ、洞窟ができる様子などの解説を聞きました。



### ■9月27日(土)

- ・サークル活動②「宜野湾の外人住宅～過去・現在・未来について学ぶ～」

宜野湾市史編集委員であり友の会員でもある仲村元惟さんからは、個人で住宅を建て、軍属に貸していた頃のお話を、元中学校教師の平安常清さんからは、外人住宅を買い取り、そこで生活を始めた頃の様子や住宅の快適さなどについてのお話を伺いました。

## 市内市外問わず、会員を募集しています♪



### はくぶつかん Information

○時 間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

○入館料：無料

○休館日：毎週火曜日・祝祭日（但し、慰霊の日・文化の日は開館します）

## 宜野湾市立博物館

〒901-2224

沖縄県宜野湾市真志喜1-25-1

TEL: 098-870-9317

FAX: 098-870-9316

※博物館の活動、今後の日程は、ホームページでもご覧になれます。

“宜野湾市立博物館”で検索！！

